

さんかくつうしん

弘前大学男女共同参画推進室 Newsletter



Vol. 31

2025年12月発行



弘前大学は2023年11月、「弘前市LGBTQフレンドリー企業」として登録されました。

5年に1回の「男女共同参画推進意識・実態調査」を実施しました ご協力ありがとうございました

2025年度弘前大学男女共同参画推進のための意識・実態調査を実施しました。この調査は、男女共同参画に関する本学教職員の現状や考え方を明らかにし、今後のニーズや課題を抽出する目的で、2010(平成22)年より5年に1回実施しており、今回で4回目です。非常勤職員を含む全教職員を対象に、5月下旬～8月上旬に、和文と英文併記のオンライン調査のみで実施し、1,793名にご回答いただきました(回答率58.7%)。

ご多忙の中、ご協力ありがとうございました。

主な回答結果として、男女共同参画推進室を知っている78.2%、昨年10月に公表された弘前大学ダイバーシティ宣言(学長宣言)を知っている43%と、当室や関係する大学の方針に対する認知度が高くなことがわかりました。また、ワーク・ライフ・バランスがとれているかに関する否定的な回答が32.4%、性別にかかわらずスキルアップや昇進の機会が平等かに関する否定的な回答が32.9%存在していました。

詳細な報告書は、年度内に男女共同参画推進室ウェブサイトにて公開予定です。

弘前大学ダイバーシティ宣言(学長宣言)

弘前大学は、平成21年に男女共同参画の推進を宣言し、第1期弘前大学男女共同参画推進基本計画(平成21～27年度)、第2期弘前大学男女共同参画推進基本計画(平成28～令和7年度)にとづき、性別、ライフステージなどを問わずに働きやすく学びやすい環境づくりに取り組んできました。この15年の間にジェンダー平等を含むダイバーシティ(多様性)、インクルージョン(包括)、エクイティ(公平性)概念に対する社会の認識は拡大し、大学における取組の重要性は高まる一方です。本学のモットーである「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」の実現には、世界、地域、そして本学が、多様な人たちから構成されているということを再認識し、行動する必要があります。

以上のことを踏まえ、グローバルな視点に立った教育・研究を推進する大学として、多様性豊かで、人種、民族、言語、宗教、国籍、障害、年齢、性別、性的指向、性自認、家族形態、ライフコースなどによる排除や差別のない、すべての学生・教職員にとって働きやすく学びやすい大学の実現をめざし、地域社会と密接に連携しながら、ジェンダー平等を含むダイバーシティ推進にいっそう取り組んでいくことを宣言します。

2024(令和6)年10月1日
弘前大学長 福田真作

スマートラボ化ツールご活用ください



COIに移転した遠隔会議ブース
スマートロックの使い方→



●遠隔会議ブース(設置場所:コラボ弘大1F、COI(健康未来イノベーションセンター1F))

●話者別・自動文字起こしレコーダー

男女共同参画推進室では、教職員の研究・業務効率向上支援のため、スマートラボ化ツール(遠隔会議ブース、自動文字起こしレコーダー、卓上会議ブース)を導入しています。また、大学院生もお使いいただけます。ぜひご活用ください。利用希望の方は当室までお気軽にご一報ください。

なお、本町キャンパスの遠隔会議ブースは2025年2月に本町キャンパスMCC2階ブースから、COI(未来健康イノベーションセンター1階)に移設いたしました。移設に伴い、電子錠(スマートロック)を採用しています。

●卓上会議ブース(防音、視線をさえぎったり空間を確保できます)



理系女子進路相談会を開催しました

弘前大学オープンキャンパス2025の一環として「女子学生による理系女子のための進路相談会」を8月8日に開催しました。この企画は、理系女子の裾野拡大を目的として、本学の理系の女子学生が「相談員」となり女子高校生の相談に応じる相談会です。

当日は約20名の高校生と保護者にご参加いただきました。

相談員は、教育学部・理工学部・農学生命科学部の女子学生13名で、学部や学科の選択や高校での勉強、キャンパスライフなどについて、女子高校生からの相談に対応しました。参加者アンケートでは、「大変参考になった」「参考になった」などの声が寄せられました。



理系女子進路相談会

●参加者の声 ●知りたかったことが聞けたし、受験頑張ろうって思いました。
●親身になってきていてわかりやすかった

ご意見をお聞かせください

弘前大学男女共同参画推進室は、ジェンダーやライフステージなどにかかわらず「働きやすく学びやすい」弘前大学となるよう、さまざまな取組を行っています。ジェンダー、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、セクシュアリティなどについて、支援策のお問合せ、お困りのこと、お気づきのことなど、当室までお知らせください。「さんかくつうしん」へのご意見やご感想などもお待ちしております。

男女共同参画トップセミナーを開催しました

昨年2024年12月17日(火)弘前大学男女共同参画推進室トップセミナーを、弘前大学ダイバーシティ推進学長宣言記念シンポジウムと銘打ち、創立50周年記念会館岩木ホールとオンラインの併用により開催しました。

ダイバーシティ推進学長宣言を踏まえ「基礎から学ぶ性の多様性と大学の対応～パイオニア・国際基督教大学での実践を素材として～」をテーマに、元 国際基督教大学教授、同センター研究センター顧問、三鷹ダイバーシティーセンター共同代表の田中かず子先生を講師にお迎えしました。

参加者の声

●大変有意義だった ●学生と接する際は性別に関係なく対応しているつもりだったが、無意識の内にマジョリティ側で差別などしているかもしれないと考えるきっかけになった
●性の多様性への興味関心に関わらず、誰もが知っておくべきことだと感じた

まず、福田学長から学長宣言を踏まえた開会挨拶・講師紹介があり、続いて講師の田中かず子先生から、大学における性の多様性対応のパイオニアともいえる国際基督教大学で取組をけん引されたことや大学の対応についてご講演いただきました。質疑応答の後、最後に橋本担当理事から学長宣言にふれつつ挨拶があり閉会しました。

日 時：令和6年12月17日（火）14時～15時

会 場：参加者：約60名（うちZoom約30名）



講師の田中かず子先生



セミナー会場の様子

「さんかくダイアログ」を開催しています

「さんかくダイアログ」は、ジェンダー平等やダイバーシティに関して弘前大学の学生や教職員が気軽に参加でき、自由に語り合える（ダイアログ[対話]できる）場を提供したいとの考え方から、年に数回企画されているものです。2024年度後半、第5回(11月29日開催)は公募企画で「同性にひかれる学生がふだん感じていること」と題して、当事者である学生ご自身の経験を率直に話題提供いただきました。第6回(12月28日)は教育学部FDとして当室専任教員山下先生が話題提供しました。

第7回(3月3日開催)は「女性、若手、外国人、性的マイノリティ、障害者等研究者と学長、担当理事、男女共同参画推進室長との懇談会」として開催しました。

2025年度第1回は7月9日、青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナーの第2部を「さんかくダイアログ」とコラボ開催する形で行われました。参加者がグループに分かれ、医師の働き方とキャリア形成をテーマに、率直な話し合いが行われました。この回には、130名を超える学生が参加しました。

参加者の声 ●医師を目指す上での視野が広がった ●とても面白い会だった
●参加してワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関して意識があがった

今後の開催予定

2025年度 第5回 2026年1月29日(木)

「部下は、あなた（上司）のことを見ている！」

2025年度 第6回 2026年3月（予定）

「女性・若手研究者と学長との懇談会in文京町」



2025年度第1回さんかくダイアログの様子

「さんかくラウンジ」を開催しました

ジェンダー視点を踏まえた学生のための環境整備として2023年よりスタートした「さんかくラウンジ」を開催しました。



総合教育棟2階イングリッシュラウンジにて開催しました

2024年度

第4回：10月11日(金) 12:40～13:40(10名参加)

第5回：11月29日(金) 12:00～12:30(8名参加)

第6回：12月13日(金) 10:00～11:30(5名参加)

第7回：3月3日(月) 10:00～11:30(5名参加)

主に参加者同士の交流や、性的マイノリティに関する日本と諸外国の相違などについての議論、教員によるLGBTQ+に関する講義などが行われました。

2025年度

第1回：5月16日(金) 11:00～13:00

(5名参加)

第2回：6月27日(金) 11:00～13:00

(4名参加)

参加者の声 ●前からラウンジを知っていたが、今年開催されるなら参加しようと思っていた。
●ラウンジでは話しやすくて居心地がよい

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）中間評価 A評価

弘前大学が令和4年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）（実施期間：令和4～9年度）の中間評価結果報告が2025年3月にあり、総合評価はA評価(所期の計画と同等の取組が行われている)でした。今後事業最終年度の令和9年度に向け、現在実施している各種取組を着実に継続すると同時に、目標未達成となっている大学全体の女性研究者比率が23%を上回るよう努めていきたいと思います。

知っていますか ➤ 男女共同参画推進室のいろいろな支援制度

当室では、例年、託児利用料補助制度を実施しています。制度について認知度があがって、年々利用者が増えています。対象になる方はぜひご活用ください。なお、この制度は年度経費予算内での実施となっているため、早期に利用終了する場合があります。今年度は予定経費の上限に達したため利用申請は終了いたしました（●参考：R6年度の利用件数89件、R7年度の利用件数48件）

当室では以下の支援制度を運用しています。2025(令和7)年度の利用者が決まりましたのでお知らせします。12月以降2026年度の利用申請がスタートします。対象となる方は、ぜひご活用ください。

- 令和7年度プロモーションメンター制度
- 令和7年度弘前大学共同研究支援審査結果

- 利用者 2名
- 採択者 1名

- 令和7年度弘前大学理農女性フェロー選考結果 採択者 2名
- 令和7年度子育て・介護中の研究者支援制度 採択者 7名

ホームページ

公式X

弘前大学男女共同参画推進室

〒036-8560 青森県弘前市文京町1

Email equality@hirosaki-u.ac.jp 電話 0172-39-3888 FAX 0172-39-3889



www.equ.hirosaki-u.ac.jp @GEquality_HU

